

広島土砂災害の支援活動報告

技術士会 建コン協 防災講演会に約120人

(公社)日本技術士会
中国本部(大田一夫本部長)と(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部(小田秀樹支部長)は3日、平成26年度第2回防災講演会「広島土砂災害復旧・復興支援活動報告」を広島市中区のまちづくり市民交流プラザで開いた。

講演会には、約120人が参加。開会挨拶に立った大田本部長は「本日は、14団体で組織する広島県災害復旧支援士業連

絡会が取り組んだ広島での復興まちづくり支援、防災対策支援、生活再建支援について報告してもらった。また、パネルディスカッションでは災害支援活動の問題点や課題を明らかにし、改善策に反映させていきたいと考えている。この講演会が今後の防災・減災活動の推進に大いに寄与することを願っている」などと述べた。

その後、広島県災害復興支援士業連絡会に加入する専門家がそれぞれの支援活動を報告。日本技術士会中国本部防災委員会の山下祐一委員は、現地派遣調査によって取りまとめた技術士会の提言を説明し、ハード対策では砂防ダム等の施設整備とともに「土石流の力を弱める緩衝帯の整備や建物強化」の必要性などを訴えた。また、建設コンサルタンツ協会中国支部防災委員会の青原啓詞委員長は、防災マップの作成手順を示し、「住民主

体で取り組むことにより防災意識が高められる」などと指摘した。このほか、日本技術士会中国本部防災委員会の古川

智委員長をコーディネーターに、今後の災害支援活動を考えるパネルディスカッションなども催された。



あいさつする大田本部長